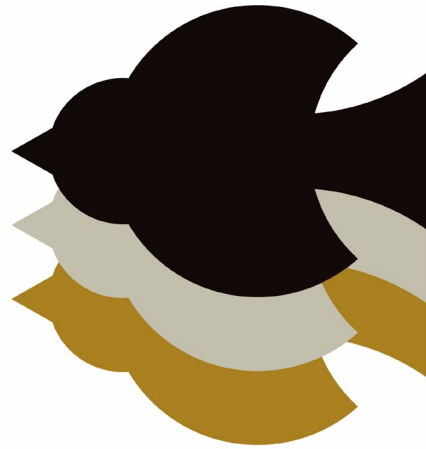




すみだ五彩の芸術祭
SUMIDA ART FESTIVAL

開催概要／協賛のご案内

2025/10

はじめに

「文化芸術の力で人と人の繋がりを深め、地域課題を解決するとともに、人々の夢をかなえる場としていく」

墨田区は、2016年に墨田区基本計画を策定し、

「住み続けたい」「働き続けたい」「訪れたい」街づくりを行っていく

「”夢”実現プロジェクト」を定めました。

本プロジェクト事業のひとつとして、2026年9～12月に「すみだ五彩の芸術祭」の開催をいたします。

墨田区には、相撲、隅田川、北斎、祭り、伝統文化、ものづくりなど、

この地域ならではのまちの特色が数多く存在します。

すみだ五彩の芸術祭は、これら地域資源を文化芸術と掛け合わせ、アーティストと区民が一緒に、

または区民自身がアーティストとなって行う表現活動を通じて、地域に根付く様々な課題解決を図るとともに、墨田区で暮らし、働き、訪れる方々に、地域への誇りと愛着を高めてもらうことを目的に開催いたします。

本芸術祭の開催にあたり、ぜひご協力賜りたく、第一報としてご案内をさせていただきます。

ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

すみだ五彩の芸術祭 概要

■名称：すみだ五彩の芸術祭

■開催場所：墨田区各所

■開催期間：2026年9月4日（金）～12月20日（日）

■実施場所：墨田区内全域

■実施内容：

- ①自主企画 実行委員会が作家を招聘して実施する企画
- ②共催企画 区内の文化芸術施設や団体と連携して行う企画
- ③公募企画 一般からの応募を審査して実施する企画
- ④連携企画 芸術祭以外のイベント主催者が行う催事事業（広報連携）

なぜ芸術祭を実施するのか

■背景と課題認識

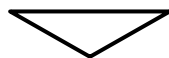
墨田区はこれまで、「人と人のつながり」や「地域資源を活用した文化活動」を大切にしてきた。

しかし、社会環境の変化により、**地域への関心や人と人とのつながりが薄れつつ**ある今、あらためて「自分がすみだの一員である」という意識を育む場が求められている。

■芸術祭の開催と目的

住民・来訪者・アーティスト・地域団体など多様な人々が関わり合いながら、地域の文化や魅力を再発見し、共有できる機会である芸術祭を開催。

芸術祭への参加を通じて、「すみだ」に対する誇りと愛着を育み、人と人、地域と人とのつながりを強化し「地域力」の向上を目指す。



地域住民が主役の芸術祭を開催

芸術祭のテーマ「すみだの五彩」

「すみだの五彩」をテーマに、地域がアートで溢れる4ヶ月間

墨田という文字に含まれる「墨」。

水墨画では、墨や筆遣いと余白を組み合わせで多彩な世界を表現することを「墨に五彩あり」といいます。

この芸術祭では、「すみだの五彩」をテーマに、多様で色彩溢れる世界を芸術を通じて表現し、地域や人の魅力、そしてすみだに暮らす喜びを再発見していきます。

2026年の秋、4ヶ月にわたり墨田区内各所で行われるアートの祭りにご期待ください。

芸術祭のコンセプト 「発気揚々」 （はっきようよう）

コンセプトは「発気揚々」 （はっきようよう）

すべての人がそれぞれのペースで生き生きといられる場を創ります。

「ハッケヨイ」というかけ声の元にもなったというこの言葉を胸に秘め、
作品を観て歩いたり、参加型の作品の一員になったり、作品をきっかけに話合ってみたり。
そんな日々を繰り返すうち、仲間が生まれ、すみだがかけがえのない土地になっていく。

「発気揚々」というコンセプトには、
芸術を起点にすべての人がそれぞれのペースで居られる地域を創っていこうという気持ちが込められています。

すみだ五彩の芸術祭で実施される企画

すみだ五彩の芸術祭

自主企画

実行委員会が
作家を招聘して実施する
企画

共催企画

区内の文化芸術施設や団体と
連携して行う企画

すみだ北斎美術館の企画展
トリフォニーホールコンサートなど

公募企画

一般からの応募を審査し、
実施する企画

アートプロジェクト
「隅田川 森羅万象 墨に夢」事業にお
ける公募の枠組みをもとに



連携企画

異なる主催者が行う催事事業等であるものの、
総合的芸術祭の趣旨に沿った事業であって、
相互の広報協力等による相乗効果が期待できる事業を
連携企画として展開

自主企画とは

「人」を中心にして、「ものづくり」「歴史」「地形・土地」「音楽」といった「5つのすみだらしさ」を軸にした各種の文化芸術企画の実施や、絵画・造形・インスタレーション・映像・音声・文字・パフォーマンスなどを、作家を招聘して制作し、区内の様々な象徴的な場所で展示などを行う企画。

国内外で活躍するアーティストをすみだに招聘します。
その中で、すみだの歴史や土地等に関する識者、職人、力士、
またすみだで暮らす区民との交流を深めながら、区民参加型の作品制作を行います。

既存の有名作品をそのまま借りるのではなく、すみだでしか見られない作品を制作予定。

自主企画ディレクター

■エグゼクティブ・ディレクター

神野真吾

東京藝術大学大学院修了。山梨県立美術館学芸員を経て2006年より千葉大学教育学部准教授。
アートの社会的価値についての理論的および実践的研究に取り組む。千葉アートネットワーク・プロジェクト（WiCAN）代表。

■ディレクター ※50音順

青木彬

1989年生まれ。現在は東京、京都を拠点に活動。首都大学東京インダストリアルアートコース卒業。アートを「よりよく生きるための術」と捉え、アーティストや企業、自治体と協働して様々なアートプロジェクトを企画している。主な活動に「SENSE ISLAND／LAND | 感覚の島と感覚の地 2024」ゲストキュレーター（横須賀市,2024）、「三島満願芸術祭2024」ゲストキュレーター（三島市,2024）、まちを学びの場に見立てる「ファンタジア!ファンタジア!—生き方がかたちになったまち—」ディレクター(墨田区,2018～)などがある。『幻肢痛日記』（河出書房新社）著。

荻原康子

アーティスト・イン・レジデンスの調査や現場運営などを経て、1994年にINAX文化推進部所属、1996年よりキュレーター・オフィスで展覧会企画及び美術館運営補助業務に携わる。2001年に企業メセナ協議会入局、顕彰事業と機関誌等を担当し、延べ500件ほどのメセナ（芸術文化支援）活動取材する。アサヒビールのメセナ活動「すみだ川アートプロジェクト」他のコーディネート、「東日本大震災 文化・芸術による復興支援ファンド」の設立等にも関わる。2011年に事務局長就任。2017年に墨田区文化振興財団常務理事就任、2019年よりアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」統括ディレクター。2020年より上田市交流文化芸術センター（サントミューゼ）総合プロデューサー、2025年に館長着任。

清宮陵一

1974年東京都生まれ。21世紀初日にアナログ専門レーベルvinylsoyuzをスタート。坂本龍一氏のcommonsに参画後、音楽プロダクション合同会社ヴァイナルソユーズを立ち上げ、様々なアーティストのサポートや特別なヴェニューでのパフォーマンスをプロデュース。『BOYCOTT RHYTHM MACHINE VERSUS』『ELECTRONICOS FANTASTICOS!』を主宰。2014年設立のNPO法人トッピングイーストでは、参加型のアートプログラムを東京都で実践。2021年より『隅田川怒涛』シリーズを展開中。「すみゆめ」の名付け親でもあり「すみゆめ踊行列」の企画制作も担当。

三田大介

1972年東京都墨田区生まれ。東京工業大学（現東京科学大学）大学院人間環境システム専攻修了。建設コンサルタント会社、都市デザイン事務所勤務を経て独立。2013年に共同で立ち上げた地域のクリエイターのグループ「すみだクリエイターズクラブ」のメンバーと共に、地元墨田区を拠点に福祉・産業・文化などの分野で地域コミュニティをつなぐコーディネーターとして活動している。主な活動に、障害者福祉事業所工賃UPプロジェクト「すみのわ」（2014～）、墨田区発の福祉アートプロジェクト「みんな北斎」（2016～）、地域の個店の課題解決をサポートする「墨田区商業コーディネーター」（2017～）、すみだ3M運動40周年祭（2024）副実行委員長など。

共催企画とは

すみだでは、既に様々な文化芸術活動が行われており、多くのプレイヤーがいます。区との関係が深い団体等の活動を芸術祭の一部として、共催企画として実施いたします。墨田区文化祭やすみだトリフォニーホール、すみだ北斎美術館といった文化芸術施設などと連携し、芸術祭会期中の企画展やコンサートも検討していきます。

公募企画とは

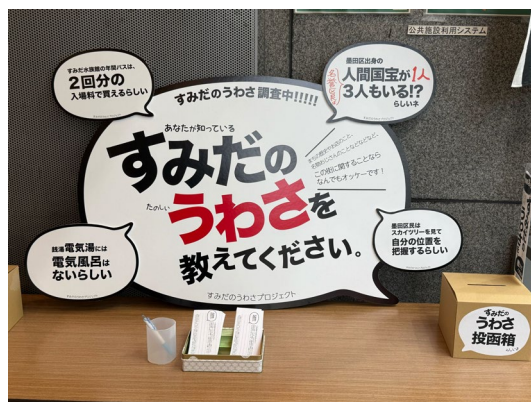
アートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」（すみゆめ）では、「北斎」「隅田川」を主なテーマに、すみだの地域資源を活用する独創的なプロジェクトを毎年募集し、審査のもと採択企画を決定しています。「北斎」「隅田川」並びにすみだの地域資源は、芸術祭においても重要なテーマとして位置付けられます。当該スキームによる公募を行うほか、より幅広い要素をテーマとする芸術祭のための公募制度を確立し、様々な主体がアーティストとなって芸術祭の場で活躍できる機会を創出いたします。

連携企画とは

芸術祭の趣旨に賛同した主催者が行うイベント等を「連携企画」として認証します。
芸術祭の趣旨に沿った事業を実行委員会で定めて、相互の広報協力等による相乗効果を狙います。
事業者同士が新たに繋がる場も設け、その繋がりが
今後のすみだの地域力を高めていく素地となるよう取り組んでいきます。

プレイベント 開催中

アーティスト・山本耕一郎氏による「人と人」「人とまち」をつなぐアートプロジェクト。
すみだのまちに飛び交う「うわさ」や、ちょっと人に自慢したくなるトピックなど、
コミュニケーションのきっかけとなる話題をフキダシにしてすみだの街に掲出。
芸術祭本祭の前年である2025年から2026年の本祭終了まで、隅田公園を皮切りに、墨田区内で開催。
2025年8月より各地に出没、スタートしています。





応援パートナー募集のお知らせ

2026年9月から始まる「すみだ五彩の芸術祭」を応援してくださるパートナーを募集いたします。

ご協賛プラン（予定）

- ◇メインパートナー 参加数限定予定
- ◇サブパートナー 参加数限定予定
- ◇一般パートナー

ご協賛金額（予定）

200,000円～1,000,000円

ご協賛特典（予定）

- ・チラシ、ポスター、MAP、冊子にロゴまたは団体名掲載
- ・WEB、SNSでの定期的なご案内
- ・プログラム冊子にAD掲載など

ただいま、芸術祭各企画では鋭意検討を進めております。
企画内容に応じて、ご協賛プランもアップデートしてまいります。
新しい芸術祭への伴走をお願いいたします。

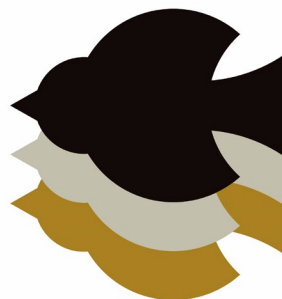
協賛のお問い合わせ

「すみだ五彩の芸術祭」実行委員会事務局協賛担当チーム

お問い合わせは、お名前・ご所属・連絡先（電話番号・メールアドレス）をご記載のうえ
下記メールアドレスまでお願いいたします。折り返し、ご連絡させていただきます。

sumida_artfest@city.sumida.lg.jp

どうぞよろしくお願いいたします。



すみだ五彩の芸術祭
SUMIDA ART FESTIVAL